

ケア実践者向け

福祉施設職員向け 感染症対策アクションカード

目次



※（ ）はケア実践者者の該当項目なし

フェーズ1

健康状態が気になる利用者が発生した場合 ……1

Step1 把握・報告

Step2 対応

フェーズ2

感染者が発生した場合 ……3

Step1 診察・検査結果判明

Step2 接触者の特定と健康状況確認

Step3 主治医との連携

Step4 感染対策の周知

フェーズ3

1) 利用者から複数の感染者が発生した場合……7

Step1 探知・報告

Step2 ゾーニング

Step3 接触者の特定と健康状況確認

Step4 主治医との連携

Step5 感染対策の周知

2) 職員から複数の感染者が発生した場合 ……12

Step1 探知・報告

Step2 人員の確保

3) 本部の立ち上げ ……14

Step1 事前準備

(Step2 本部立ち上げ)

Step3 本部運営

4) 物品管理 ……16

5) 外部への情報共有 ……17

Step1 利用者家族への情報共有

(Step2 関係機関への報告)

Step3 施設に入る業者への説明

フェーズ0

クラスターの収束 ……19

個人用アクションカード雛型

福祉施設職員向け ケア実践者向け 感染症対策アクションカード

フェーズ1 健康状態が気になる利用者が発生した場合

Step 1 把握・報告

1 感染対策担当者への報告

<ケア実践者>

- 症状（発熱、咳、下痢・嘔吐等）がある利用者を把握した場合、速やかに責任者【 】へ報告

2 かかりつけ医・協力医療機関等への報告

<ケア実践者>

□ 医師へ相談

かかりつけ医がある⇒かかりつけ医への相談

【連絡先記載場所： 】

かかりつけ医がない⇒嘱託医・協力医療機関へ相談

【連絡先記載場所： 】

3 記録・引き継ぎ

<ケア実践者>

- 利用者の体調、医師からの指示を明確に記録
- 次の担当者へ体調不良者がいることを申し送り

フェーズ1 健康状態が気になる利用者が発生した場合

Step 2 対応

1 接触者の健康状況確認

<ケア実践者>

- 標準予防策の見直し、徹底
- 体調不良者と接触のあった利用者や職員の中で症状がある者がいないか確認
(⇒症状がある利用者を把握した場合はP1、職員に症状がある場合はP12へ)

2 共有部分利用の見直し・周知

<ケア実践者>

- 共有部分の利用方法について利用者に説明

福祉施設職員向け ケア実践者向け 感染症対策アクションカード

フェーズ2 感染者が発生した場合

Step 1 診察・検査結果判明

1 受診

<ケア実践者>

- ❑ 基本的感染対策を徹底
(サージカルマスク着用、手指消毒等)
- ❑ 医療機関送迎時は換気
(窓を開ける又はエアコン外気導入モード)
- ❑ 診断名は速やかに責任者【】へ報告
【】内には自施設の具体的な役職や氏名を記載してください

2 説明・同意・個室隔離

<ケア実践者>

- ❑ 感染対策担当者の指示を受け、感染者を個室移動
- ❑ 個室をレッドゾーンとし、動線完了するよう必要物品を用意
(防護具着脱スペースや物品用意、ポータブルトイレ、バイタル測定物品等の用意)

3 移動前居室の清掃

<ケア実践者>

- ❑ 通常の清掃に加え、高頻度接触面を消毒

フェーズ2 感染者が発生した場合

Step 2 接触者の特定と健康状況確認

1 接触者（利用者）の特定

<ケア実践者>

- 感染対策担当者の指示に従い、感染者と接触した可能性のある者を特定
- 感染対策担当者の指示に従い、特定された接触者の健康状況の確認

2 接触者（職員）の特定

<ケア実践者>

- 自分自身の体調について健康観察を実施
(体調不良の場合はP12へ)

福祉施設職員向け ケア実践者向け 感染症対策アクションカード

フェーズ2 感染者が発生した場合

Step 3 かかりつけ医や協力医療機関等との連携

<ケア実践者>

- 感染対策担当者から共有された受診の目安やかかりつけ医や協力医療機関等への連絡手段等を確認

福祉施設職員向け ケア実践者向け 感染症対策アクションカード

フェーズ2 感染者が発生した場合

Step 4 感染対策の周知

<ケア実践者>

- 感染者のケア時は決められたとおりに防護具を準備し、着用
- 着脱方法に不安がある場合は【 】へ確認
【 】内には自施設の具体的な役職や氏名を記載してください
- 防護具はレッドゾーン内で脱ぐ
- 脱衣した防護具はレッドゾーン内に捨てる
(病原体を吸い込む恐れがあるため、マスクはレッドゾーンを出てから外す)
- 防護具を脱衣した後は必ず手指消毒を行い、退室

福祉施設職員向け ケア実践者向け 感染症対策アクションカード

フェーズ3

1) 利用者から複数の感染者が発生した場合

Step 2 ゾーニング

<ケア実践者>

- 感染対策担当者の指示に従い、居室移動等を実施
- 移動後、使用していた部屋を清掃（高頻度接触面を中心にアルコール等の消毒）を行う
- ゾーン内での留意事項を確認

フェーズ3

1) 利用者から複数の感染者が発生した場合

Step 3 接触者の特定と健康状況確認

<ケア実践者>

- 感染対策担当者の指示に従い、感染者と接触した可能性のある者を特定
 - ※特定範囲：感染可能期間（疾患によって異なる）の同室者、食事や談話場面の隣席者等
- 特定した接触者をリスト化
- 特定された接触者の健康状況の確認
- 自分自身の体調について健康観察を実施

福祉施設職員向け ケア実践者向け 感染症対策アクションカード

フェーズ3

1) 利用者から複数の感染者が発生した場合

Step4 かかりつけ医・協力医療機関等との連携

<ケア実践者>

- 感染対策担当者から共有された受診の目安やかかりつけ医・協力医療機関等への連絡手段等を確認

フェーズ3

1) 利用者から複数の感染者が発生した場合

Step 5 感染対策の周知

<ケア実践者>

- 感染者のケア時は決められたとおりに防護具着用
- 着脱方法に不安がある場合は確認
- 防護具はレッドゾーン内で脱衣
- 脱衣した防護具はレッドゾーン内に捨てる
- 防護具を脱衣した後は必ず手指消毒を行い、退室

フェーズ3

2) 職員から複数の感染者が発生した場合

Step 1 探知・報告

<ケア実践者>

- 自ら体調不良となった場合、速やかに
責任者【 】へ報告
【 】内には自施設の具体的な役職や氏名を記載してください

◎伝える内容

- いつから（発症日）
- 発症時の症状
- 現在の症状
- 受診の有無
受診有り⇒診断名・医師の指示
受診なし⇒責任者からの指示に従う

- ※ 受診は必須ではなく、有症状者の年齢、症状や基礎疾患の有無、その時の医療ひっ迫状況を加味し、判断

フェーズ3

2) 職員から複数の感染者が発生した場合

Step 2 人員の確保

<ケア実践者（リーダー）>

- ケア実践者の中に症状がある者がいないか確認
- 有症状者は勤務から外す
- 欠勤者を除いた勤務シフトを作成
- 感染対策担当者と業務内容を見直し
- 欠員補充が必要な場合は施設管理者へ相談

フェーズ3 3) 本部の立ち上げ

Step 1 事前準備

《ケア実践者》

- 本部立ち上げの基準を確認
- 施設管理者への情報ルートを確認

フェーズ3
3) 本部の立ち上げ

Step 3 本部運営

《ケア実践者（リーダー）》

- 施設の方針等を現場のケア実践者へ共有

フェーズ3 4) 物品管理

《ケア実践者》

- 防護具を着用する目的を理解し、正しい方法で着脱を実施

- 感染対策物品について、1日あたりの使用量及び在庫数をまとめ、物品・調達担当へ報告

フェーズ3
5) 外部への情報共有

Step 1 利用者家族への情報共有

《ケア実践者》

- 施設が発信している内容を承知しておく

フェーズ3 5) 外部への情報共有

Step 3 施設に入る業者への説明

《ケア実践者（リーダー）》

- 出入り業者から質問されたことは、施設として回答するため、広報窓口を紹介

- リネンや廃棄物処理方法について、感染対策担当者から指示された事項をケア実践者間で共有

福祉施設職員向け ケア実践者向け 感染症対策アクションカード

フェーズ0 クラスターの収束

《ケア実践者》

- 強化していた感染対策を平時の感染対策に戻す

福祉施設職員向け ケア実践者個人用 感染症対策アクションカード

Step

1

2

3